

分類によるIV型である。調査総周期 1,149 のうち一相性は 5% 内外、他はそれぞれ型の異なる二相性である。(2) 陥落期は逆算平均 13.83 日、これも大体年令と平行して僅かに長くなっている。季節的には年令を問わず夏秋が僅かに短い。逆算12~16日までの者は 65.82% を占めている。(3) 高温期平均98.08°F, 低温期平均97.50°F, いずれも季節的には夏秋がやや低い。高低温差平均約0.6°F である。(4) 上昇期平均 2.49日、夏は僅かに長く冬は逆に短い。下降期平均 2.13日、春は僅かに長く秋冬は短い。両期とも年令に平行して僅かに長い。(5) 月経不順の学生も次回月経の予測ができ精神的に安定を得つつある。

3. 女子学生の基礎体温に関する一考察

山形大教育 長岡 佑

1. 20才~22才頃の女子学生の基礎体温曲線の特徴を知り、殊に月経不順により次回月経発来日不明のため常に不安を持つ学生達の、次回月経の予測にこれを役立てひいては将来彼女等の合理的な家族計画にも応用できるようにしたい。
2. 昭和29年~36年の山形大学教育学部家庭主、副専攻学生(2年次~4年次)100名の基礎体温を一定の婦人体温計で一年間継続し口腔内舌下に挿入して5分間測定させ、それを特定の体温表に記入して基礎体温曲線を作成し集計した。
3. (1) 年間を通して典型的 BBT 曲線を示す者は僅かに12%内外で、それは年令の増加と平行して多くなっている。年令に無関係に最も多い型は、松本、大倉両氏